

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日本新研究開発拠点新設工	階数	7
建設地	大阪府堺市堺区匠町1番3他8筆(1番)	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	3,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2021年2月15日
敷地面積	52,261 m ²	作成者	伊 在 勲
建築面積	28,186 m ²	確認日	2021年2月18日
延床面積	94,404 m ²	確認者	梶尾 輝雅



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 57%
 ③上記+②以外の 53%
 ④上記+ 53%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

LR のスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.8

3 設計上の配慮事項		
総合 大阪府堺市の研究棟の計画である。利用者の快適性向上のための配慮に加え、高効率設備の採用による省エネ設計や、水・材料等の省資源への取組みで地球環境にも十分配慮した計画としている。		その他 特になし
Q1 室内環境 全館禁煙とし、良好な空気環境を維持している。	Q2 サービス性能 執務室の天井高さは3.0m以上とし、館内には自販機の設置・リフレッシュスペースの確保がされていることで、利用者の快適性が高められている。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に配慮し、道路境界線、敷地境界線沿いには植栽を積極的に設けている。
LR1 エネルギー 高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用やリサイクル材の積極的な採用で資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 バス停の新設により利用者の利便性に配慮している。また、車両出入口の工夫により、周辺道路の渋滞緩和に寄与している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)日本新研究開発拠点新設工事(設計研究棟)	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市堺区匠町1番3他8筆(1番4、1番5、1番6、1番11、3番3、4番、5番、6番3)	3.2	S
	主用途/延床面積	事務所 / 94,403.78 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	5	🌸🌸🌸🌸🌸
みどり・ヒートアイランド対策	3	🌸🌸🌸 . .
エネルギー削減	5	🌸🌸🌸🌸🌸
建物の断熱性	4	🌸🌸🌸🌸 .
安全快適な暮らし	4	🌸🌸🌸🌸 .
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	-	地中熱	○		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.8	5
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	4.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	5.0	5
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.0	4
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	4.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	5.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	4.0	○

4. その他

技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	